



1. マーケット・レート

			6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7450	3.7470	3.7720	3.7680	3.7850	+0.0170
	BRL/JPY	Spot	29.52	29.38	29.25	29.19	29.05	-0.14
	EUR/USD	Spot	1.1622	1.1589	1.1575	1.1603	1.1654	+0.0051
	USD/JPY	Spot	110.55	110.08	110.36	109.99	109.97	-0.02
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	7.081 8.257	6.995 7.893	6.997 7.904	7.013 7.842	7.036 7.979	0.022 0.137
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	3.984 4.561	3.882 4.486	4.011 4.589	4.152 4.800	4.239 4.948	+0.087 +0.149
株式	Bovespa指數	69,814.75	71,394.34	72,123.44	70,074.88	70,640.63	+565.75	
CDS	CDS Brazil 5y	278.09	273.32	270.30	267.95	265.07	-2.88	
商品	CRB指數	196.183	193.825	194.983	194.400	197.532	+3.132	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは当局による介入の動向を見ながら揉み合う動きが継続。
- 週初のレアルは3.7420で寄り付いた。伯中銀はドル売りスワップ入札の金額を先週比で縮小したものの、引き続き当局の介入姿勢がサポート材料となったことで週前半のレアルは堅調に推移し、週間高値3.7080まで上昇した。その後、特段の材料を欠く中でレアルは反落し、週間安値3.8020まで下落。然しながら伯中銀が追加のドル売り介入を発表したことで買い戻しが進み、結局3.7850で越週した。
- 18日に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.94%から1.76%、2019年は2.80%から2.70%へ下方修正された。インフレ率予想は2018年が3.82%から3.88%、2019年は4.07%から4.10%へ上方修正。年末の為替レートは2018年が3.50から3.63、2019年が3.50から3.60へレアル安方向に修正された。
- 20日のマーケット引け後にCOPOMの結果が発表され、伯中銀は現在6.50%としている政策金利の据え置きを発表した。声明文では、低位で安定しているインフレ率を背景に、最近の為替市場で見られる動きが金融政策に直接的な影響を与えることは無いとの考えを示し、為替相場の管理に金融政策を利用しないとの従来からの姿勢を維持した。
- 今週も伯中銀はドル売りスワップの入札を行った。既存ポジションのロールオーバーとして1日当たり4.4億ドルの入札を行い、更に週を通して合計50億ドルの追加入札を実施した。伯中銀は先週、今週の追加入札について合計100億ドルの金額を示唆。結果はその半分に止まったもののレアルが週を通して急落する場面は無く、連日介入を行っている伯中銀の姿勢がレアルをサポートしたものと見られる。

3.今週のチャート&ハイライト



伯中銀は政策金利の据え置きを発表

今週行われたCOPOMでは、伯中銀は現在6.50%としている政策金利を据え置いた。他の新興国において自国通貨安を受けた金利引き上げの動きが見られているが、伯中銀は為替市場の管理に金融政策を用いないという従来からの姿勢を維持。レアル安を背景とした利上げは実施しなかった。尚、国内のインフレ率は前年比で+3%を下回って推移しており、引き続き中銀目標の+4.5%を大きく下回る水準。COPOMの結果やインフレ動向を踏まえると当局が利上げを検討する状況では無いが、金利先物市場では次回の8月COPOMにおける0.50%の利上げを約60%織り込んでおり、市場参加者による当局への不信感が現れているものと見られる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.75—3.85

来週のレアルは小幅に下落する展開を予想する。今週、伯中銀はドル売りスワップ入札に関して来週の予定を発表しなかった。また、週末にかけて他の新興国通貨が対ドルで堅調推移する中でレアルが下落したが、当局はドル売り介入を拡大する動きを見せなかつた。これらを踏まえると、伯中銀は急激なレアル安に対しては引き続き介入による安定化を図る動きが予想される一方、緩やかなレアル安については許容する可能性が高く、レアルは3.7台後半から3.8台前半で推移するものと予想する。尚、来週26日には今週行われたCOPOMの議事録が公表される予定。足元で見られる市場のボラティリティ上昇を受けたCOPOMメンバーによる議論の内容に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	マーキット米国製造業PMI	56.1	54.6	56.4
米	マーキット米国サービス業PMI	56.5	56.5	56.8
米	マーキット米国コンポジットPMI	--	56.0	56.6

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/25	FGV CPI IPC-S	Jun/22	1.16%	1.00%
ブラジル	6/25	経常収支	May	\$935m	\$620m
ブラジル	6/25	海外直接投資	May	\$3000m	\$2618m
米	6/25	新築住宅販売件数	May	665k	662k
米	6/27	耐久財受注(前月比)	May	-1.00%	-1.60%
ブラジル	6/27	融資残高	May	--	3090b
米	6/27	中古住宅販売仮契約(前月)	May	1.00%	-1.30%
ブラジル	6/28	FGVインフレGPM(前月比)	Jun	--	1.4%
米	6/28	GDP(年率/前期比)	1Q	2.2%	2.2%
米	6/28	新規失業保険申請件数	Jun	220k	218k
米	6/28	失業保険継続受給者数	Jun	1718k	1723k
米	6/28	個人消費	1Q	1.0%	1.0%
ブラジル	6/29	税収	May	106300m	130806m
ブラジル	6/29	純債務対GDP比	May	51.5%	51.9%
米	6/29	ミシガン大学消費者マインド	Jun	99.2	99.3

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるかかる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。